

季刊

唯物論研究協会編集

思想と現代

1988

14号

特集

● 人間と自然の共生

〈座談会〉

人間と自然の共生をめざして

芝田進午／本谷 勲／廣井敏男

自然と人間の自然……

椎名重明

エコロジー危機としての……

入江重吉

人間・その未来の選択……

杉田 聡

原子力発電について……

林 智

……

中島篤之助

発売元

白石書店

現代思想の境位〈唯物論研究〉 年報3

唯物論研究協会編

定価2800円 千250円

産業社会の論理と非合理主義の哲学—中村雄二郎氏の所説を分析する—/碓井敏正 装置の学としての進化的認識論/入江重吉 認知心理学とピアジェの認識論/中島英司 歴史の転換期と女性問題/早川紀代 被爆者像の再検討—被爆者は「生ける屍」か/舟橋喜恵 西ドイツにおける「規範論争」/高田純 もういちど “das bewußte Sein” について—石井伸男氏の見解を駁し批判に答える— 秋間実形式論理の個物的区別性と矛盾について/鶴見勉 唯物論と現代社会の行方/仲本章夫

唯物論研究協会編 定価各2800円千250円

唯物論の伝統と現代〈年報85年版〉

弁証法の現代的意義〈年報86年版〉

東京都千代田区神田神保町1-28

白石書店

☎03(291)-7601
振替東京2-16824

白石書店 東京都千代田区神田神保町1-28
☎03(291)7601振替東京2-16824

戦後思想の再検討

東京唯物論研究会編

民衆の側からの戦後思想を総括、再検討し、歴史的岐路に立つ現代日本の指針を探る。

人間と文化篇

定価二五〇〇円 千250

思想の戦後史をどうとらえるか——高田求/論理学論争について——仲本章夫/戦後思想の人間論——吉田正岳/文化運動と高度経済成長——佐藤和夫/戦後思想の方法と文学——山根献

政治と社会篇

定価二四〇〇円 千250

戦後四〇年の思想——芝田進午/大衆社会論争——後藤道夫/戦後民主主義の現在——吉崎祥司/「脱産業化社会」の夢と現実——石井伸男/批判的視角からみた技術の論理——鳥居廣

季刊 思想と現代

1988年7月
第14号

唯物論研究協会編集

発売元 白石書店

目次

特集 人間と自然の共生

〈座談会〉

- 人間と自然の共生をめざして……………芝田進午／本谷 勲／廣井敏男 3
自然と人間の自然……………椎名 重明 22
——その近代的概念についての一考察——
自然尊厳公理からエコトピアへ……………入江 重吉 39
エコロジー危機としての共同性の疎外……………杉田 聡 56
人間・その未来の選択……………林 智 72
原子力発電について……………中島篤之助 84

文化時評

- 霧が晴れる日(3)……………志田 昇 99
——「新人類」と「イギリス労働者階級」——

- 最澄とその思想……………岩崎 允胤 109

海外論文翻訳

- ベトナムにおける哲学研究……………ファム・ニュー・クオン／藤井 正訳 128

書評

- 溪内謙著『現代社会主義を考える』……………竹森 正孝 135
吉田傑俊編著『現代日本の思想』……………福山 隆夫 137
グールド著『個体発生と系統発生』……………稲生 勝 138

もう一つの思想家像

- 森有正と感性の問題——意志と思想へのセンス——……………伊藤 宏一 140

前号批評

- 宗教ブームを斬る……………碓井 敏正 152

編集後記

装幀 フレッシュ・アップ・スタジオ・渋川泰彦